

病防第85号
令和3年（2021年）10月27日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和3年度（2021年度）発生予察特殊報第1号
令和3年（2021年）10月27日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 *Stemphylium lycopersici* によるバレイショの病害
- 2 学 名 *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W.Yamamoto
(syn. *Stemphylium floridanum* C.I.Hannon & G.F.Weber)
- 3 発生作物 バレイショ（ナス科）
- 4 発生確認の経過
令和3年（2021年）3月、県内のバレイショ栽培ほ場において、複葉に、内部が淡褐色でやや陥没した、周囲が暗褐色の不定形斑紋が発生した株が広範囲に渡って多数確認された（図1）。現地ほ場から当該株を採取し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、*Stemphylium lycopersici* による病害であることが判明した。
- 5 国内の発生状況
本病原菌はトマト斑点病を引き起こす病原菌として知られているが、本病原菌によるバレイショでの病害の発生は日本国内ではまだ報告されていない。なお、中国では平成30年（2018年）に本病原菌によるバレイショでの病害の発生が報告されている。
- 6 病徴
はじめ、葉に、周囲が黄色に縁どられた褐色の斑点が生じる。その後、斑点は直径2～10mmほどの病斑に進展し、葉の病斑部は壊死する。

7 防除対策

- (1) 現在、バレイショの本病害に対する登録農薬はないため耕種的防除を行う。
- (2) り病葉やり病残さは伝染源となる恐れがあるため、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (3) ほ場の排水を良くし、ほ場内の多湿を避ける。



図1 複葉に生じた褐色病斑



図2 *S. lycopersici* の分生子

※図2の画像は農林水産省門司植物防疫所より提供

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当：中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493